

令和6年度英語教育に関する学校評価の結果について

米原市立柏原小学校

本校は、英語特例校として5・6年生で年間81時間、3・4年生で年間46時間、1・2年生で年間21時間（1～6年は一部朝のモジュール学習の時間を含む）取り組んできました。令和6年度の英語教育に関する学校評価を以下のようにまとめました。

【児童評価】（3～6年生）

（設問）英語の授業は楽しいですか。

	R5	R6
よくあてはまる	78%	66%
少しあてはまる	22%	31%
少しあてはまらない	0%	1%
あてはまらない	0%	2%

（設問）英語に興味があり、もっと英語を勉強したいですか。

	R6
よくあてはまる	42%
少しあてはまる	53%
少しあてはまらない	2%
あてはまらない	3%

*質問項目がちがうため、R5データなし

【保護者評価】

（設問）英語の授業は楽しいと言っている。

	R5	R6
よくあてはまる	52%	44%
少しあてはまる	40%	50%
少しあてはまらない	7%	6%
あてはまらない	1%	0%

○「よくあてはまる」「少しあてはまる」の肯定的意見が全体の97%と、おおむね多くの児童が楽しく授業に取り組めている。低学年から発達段階に応じた英語授業の取組ができるため、中学年や高学年においても抵抗感なく、学習に前向きな様子が見られる。

○全体的にR5年度よりも、「よくあてはまる」の割合が減少している。授業の中で、英語に楽しくふれる活動を仕組み、子どもの英語への関心意欲を高めるような英語学習に取り組んでいきたい。また、今後はさらに英語を使ってコミュニケーションを図る取組に力を入れ、英語で話せることに対して自信をもち、自己肯定感の向上にもつなげていきたい。

○児童設問「英語の授業が楽しいですか」では、「よくあてはまる」の回答が7割程度に対して、保護者の回答はそれほど高くない。引き続き本校の取組を浸透させていき、英語教育に生き生きと取り組む児童の様子を発信していく必要がある。